



窓辺スペース

アウルの2・3階の各居室に面した廊下のつきあたりには、大きな窓辺にカウンターテーブルと椅子を配したフリースペースがあります。

アウルの設計は「旅するように暮らしたい」というキーワードをベースに考えられ、普通の住宅でありながらも外部との関わりを持ち、閉ざされた大きな箱とならないような造りが盛り込まれました。



その工夫のひとつが窓です。居室も含めてサイズは大きめ、共有空間には多めに窓を設けています。

2・3階の窓辺スペースは、外の風景を眺めたり、手紙の返事を書いたり、ときには差し入れにいらしたご家族と携帯電話で窓越しにお話ししたりと、さまざまにお使いいただいています。2階と3階では見える景色や空間の雰囲気が異なるので、居室とは別の階の窓辺で過ごす方も。廊下の窓辺は小さな憩いの場にもなっています。



りりこの いやし課日記

ケアは
目を見て

▲ケアの基本、アイコンタクトを実践中。入居者様と見つめ合うりりこ

スタッフ リレーエッセー

アウル大好き

入社してからあつという間に半年が過ぎました。入社のおかげは、昔から大好きな犬のいる施設で働いてみたかったことと、もし自分の家族に介護が必要になったらアウルコートのような施設で暮らしてほしいと思ったからです。外出があまりできない方も癒し課のりりこに癒され、四季折々の季節を感じたイベントが楽しめます。また、個々が本当に尊重されていて、他にはない雰囲気に驚きました。



介護職員 山田 菜央

実際に入社してみると力不足で上手くいかないことも多々ありましたが、ご入居者様の笑顔やありがとうの言葉が励みになりました。仕事を通して日々新しい発見があり、周囲に支えられ仕事を続けられていることに感謝しています。

まだまだ半人前の私ですが、入居者様が笑顔になれるような時間を一緒に過ごせたらうれしいです。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その67 2024年4月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



令和6年、うるう年

代表取締役 武田 治信

令和6年、2024年を迎え新年度に入りました。今年には4年に1度のうるう年にあたります。季節は立春、春分を過ぎ、これから5月初めの立夏へと移ろいます。

今年には年始早々元日に石川能登地方で震度7の地震が発生。多数の避難者が出ています。天皇皇后両陛下が甚大な被害に心を痛められ、皇居の一般参賀が取り止めになりました。被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。

近いところで大規模な自然災害を少し振り返ってみると、2018年に東日本・西日本を襲った記録的な猛暑では、7月から8月にかけて40℃を超える都市が7か所にもなり、死者133名を記録しました。この年の9月には胆振東部地震が発生し、こちらは震度7、死者43名を記録しています。2019年には8月に九州北部で集中豪

雨災害が発生。10月の東日本台風の被害も甚大でした。2020年には熊本豪雨。2021年には福島沖地震、熱海市土石流災害が発生。2022年3月、福島沖地震発生。記憶に新しいところでも毎年のように起こっています。

世界で起きるマグニチュード6以上の地震の約2割が日本周辺に集中していることから考えても、自然災害の多い国に暮らしていることを念頭に置き、先人が示した「備えあれば憂いなし」の心構えで、今年度も防災対策に取り組みたいと改めて思います。

今年度もぜひ平穏無事で明るく良い年となりますように、移ろいゆく世の中でもいつまでも平和で争いのない時代が続きますようにと願いながら、同じ屋根の下で暮らす方々と共にうるう年を大切に過ごしていきます。

ストーブを囲み 温かなおやつ

アウルコートの冬ならではの行事に、月1回の「薪ストーブの日」があります。昼下がりにラウンジの薪ストーブでおやつをつくって、皆さんでいただきます。今季は昨年11月30日(木)にスター

ト。焼き芋、ホットココア、ミルクティー、コーンスープ、抹茶ラテと、3月まで月替わりの味を楽しみました。

当日は朝から職員が仕込みを開始。薪を焚き始めると館内に香ばしい匂いが充ち、気づいた入居者様がストーブの周りにぼつぼつと顔を出されます。勢い

よく燃える薪と、窓の外の雪景色で、ラウンジは冬の山荘の趣になります。



木の香に炎と音 懐かしい記憶

「火を見ていると飽きないね」
「きれいな色だね」

心地良い暖気に包まれ、普段はあまり話すことのない方ともお喋りが弾みます。ゆらぐ炎やはぜる音が昔の記憶が引き出し



てくれ、話題も広がります。ひと息ついたところで、職員が弾くギターの伴奏で、「上を向いて歩こう」「たきび」などを皆さんで合唱。懐かしい思い出がよみがえり、涙ぐむ入居者様もいらっしゃいました。

火の見える暖房のぬくもりと、その火でつくったおやつが体を温め、火を囲む人の輪が心を温める薪ストーブの日は、心地良い空間や快適な時間を意味する北欧デンマークの言葉「ヒュッゲ」を体現するようなひとときとなっています。

薪ストーブに魅せられて

五感を刺激するアウルの冬の風物詩



アウルの四季彩々日記

●年末～1/14(日)

お正月飾りで華やかに

年の瀬からお正月飾りが館内を彩り、新年を寿ぐ気持ちを高めました。入居者様ご提供の美しい羽子板は今年も展示。五穀豊穡と無病息災を願う縁起物の繭玉と一緒に、エンタランスを華やかに演出してくれました。



●1/1(月)

ノンアルコールお神酒で迎春

元日の新年交礼会では、アウルがご用意したノンアルコールのお神酒で祝杯をあげます。お酒をたしなまれる入居者様がお好みの銘柄を持参され、お仲間と一献傾けるひとこまも。お正月らしいお祝いムードに浸りました。



●1/11(木)

鏡開きのお汁粉が大好評

毎年恒例のお汁粉ですが、今年は特に「お餅がおいしかった」と大好評。お餅はつるりとした食感になるようお豆腐を混ぜており、その配合割合は毎年調整しています。工夫が実り、今年是最良の配合を発見できたようです。



●2/3(土)

赤鬼青鬼が居室を訪問

アウルの節分では、鬼が豆をまかれに各居室を訪問。2階の多目的室にいらした入居者様には、皆さんで豆まきをしていただきました。これまで鬼は一人でしたが、今年は赤鬼と青鬼が登場し、賑やかな節分になりました。